

観光振興特別委員会資料



八戸三社大祭山車(令和元年8月1日)

- 1 各まつりの実績について
 - (1)八戸三社大祭の実績について
 - (2)八戸花火大会の実績について
- 2 あおもり10市大祭典inつがるの開催について
- 3 VISITはちのへについて
- 4 八戸市観光統計について

商工労働観光部観光課

1 各まつりの実績について

(1) 八戸三社大祭の実績について

①八戸三社大祭入込数

(単位:人)

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	入込数	曜日	入込数	曜日	入込数	曜日	天気
7月31日	220,000	月	225,000	火	220,000	水	晴れ
8月1日	210,000	火	180,000	水	180,000	木	晴れ
8月2日	185,000	水	230,000	木	235,000	金	晴れ
8月3日	180,000	木	180,000	金	205,000	土	晴れ
8月4日	225,000	金	225,000	土	230,000	日	晴れ
8月5日	120,000	土					
三社大祭 計	1,140,000		1,040,000		1,070,000		
おまつり広場	350,000		360,000		380,000		
騎馬打毬	2,800		2,800		2,800		
合計	1,492,800		1,402,800		1,452,800		

・ユネスコ無形文化遺産登録効果が継続し、期間を一日延長した平成29年度を除けば、後夜祭が始まった平成15年度以降、最多の入込となった。

・おまつり広場の入込も順調に増加傾向にある。

・外国人観光客が昨年より増加した。(八戸三社大祭外国人案内ブース来訪者数は160名増)

②審査結果

賞	組名
最優秀賞	十一日町龍組
優秀賞	下組町山車組 八戸市職員互助会
秀作	朔日町附祭 内丸親睦会 吹上山車組
敢闘賞	鍛冶町附祭若者連 青山会山車組 吉田産業グループ山車組 白山台山車組
お囃子賞	賣市附祭山車組
運行賞	鍛冶町附祭若者連
伝統山車賞	新荒町附祭若者連 六日町附祭若者連



最優秀賞 十一日町龍組

1 各まつりの実績について

(2) 八戸花火大会の実績について

今年の第39回八戸花火大会は「八戸市市制施行90周年」、「公益社団法人八戸青年会議所創立60周年」、「八戸港開港80周年」を記念して開催され、約5,000発の花火が打ち上げられた。

【日 時】 令和元年8月18日(日) 19:00～20:30

【場 所】 館鼻漁港

【主 催】 八戸花火大会大会委員会
((公社)八戸青年会議所、(一財)VISITはちのへ、
青森県三八地域県民局、八戸商工会議所、八戸市)

【入 込 数】 約9万人(館鼻会場のみ)
※第33回大会までの入込数は例年14万人前後であったが、第34回大会より、ポートアイランド等周辺会場のカウントを廃止した。
(第36回は約4万人、第37回は約8.8万人、第38回は約8.9万人)

【防災対応】 ・防災に係る警備計画を策定し、会場周辺は地震、津波発生時の避難経路確保のため車両進入禁止とし、防災対策を実施した。
・防火管理体制の強化のため、主催者が火気器具を使用する露店の出店を取りまとめ、消防署へ届出を行った。

【そ の 他】 ・「メッセージ花火」が恒例企画として実施された。
・有料指定席が1マス(1.8m×1.8m 4名まで)6,000円で販売された。
・終了後、会場出口にて、来年の開催のため、募金活動を実施した。



打上げの様子

2 あおもり10市大祭典inつがるの開催について

【目 的】 県内10市が連携し、各市の祭りや伝統芸能、食、観光情報を一堂に集結させ、10市の交流を図るとともに、各市の魅力を強力にアピールすることで今後の継続した県内各市への誘客ならびに回遊、滞在を促進させる。

【開催期間】 令和元年 9月 21日（土）～22日（日）

21日 10:00～20:00

22日 10:00～16:00

【会 場】 イオンモールつがる柏 駐車場（つがる市）

【主 催】 青森県都市共同観光振興特別対策事業実行委員会
→ ※青森県市長会を基礎とした実行委員会組織



【開催概要】

- ①お祭パレード 青森ねぶた、弘前組ねぶた、八戸三社大祭、黒石よさされ、五所川原立佞武多、三本木小唄流しおどり、アメリカンパレード、おしまこ流し踊り、つがる市馬ねぶた、平川ねぶた
- ②ふるさとステージ ステージ上に各市長が登場するオープニングセレモニーで始まり、各市の伝統芸能やお祭りの囃子等を披露
- ③グルメコーナー 県内10市の食が大集合
- ④観光PR・物販コーナー 県内10市の観光情報の発信や特産品等の販売

【八戸市からの出演・出展内容】

- ①お祭りパレード 八戸三社大祭（はちのへ山車振興会）
- ②お祭りステージ 八戸三社大祭囃子（はちのへ山車振興会）
- ③食・物産・観光PRコーナー サバだしラーメン・八戸せんべい汁・八戸前沖さば串焼き等

【参 考】 来場者数 in五所川原（H28年度）170,000人
in十和田（H29年度）190,000人
in青森（H30年度）250,000人



オープニングセレモニー(昨年度)



お祭りパレード(昨年度)

3 VISITはちのへについて

1. 最近の動き

(1) 環境省との国立公園オフィシャルパートナーシップ締結

以下のとおり、DMO組織として全国で4例目となる環境省との国立公園オフィシャルパートナーシップを締結。

- ・締結日 令和元年7月26日(金)
- ・場 所 環境省
- ・内 容 環境省と相互に連携し、国立公園の美しい景観などを世界に発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることで、内外の人々の自然環境の保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげること

(2) 八戸市と(協)湊日曜朝市会との観光誘客と物産振興に関する連携協定

八戸圏域を代表するコンテンツ「館鼻岸壁朝市」の開催による観光誘客と物産振興に関して協力し、地域活性化を図るため、連携協定を締結。

- ・締結日 令和元年8月11日
- ・場 所 館鼻岸壁朝市
- ・内 容 VISITはちのへ:ソフト事業実施による国内外観光客の受入環境整備支援
国内外へのプロモーション
湊日曜朝市会:八戸市及びVISITはちのへが行う観光誘客・物産振興、その他地域活性化に資する事項に可能な範囲で協力
八戸市:朝市の円滑な運営支援のため、必要に応じて関係機関との調整・助言

(3) 日本版DMO法人登録証交付

令和元年8月7日付にて、観光庁より日本版DMO法人として登録。(県内2例目)

法人登録証については、東北運輸局小野観光部長より交付を受けた。

- ・交付日:令和元年8月26日
- ・場 所:東北運輸局



環境省との締結式



連携協定協定締結



DMO法人登録証交付式

2. 主な事業

(1) 英語版ホームページ「VISIT HACHINOHE | The Official Guide to Hachinohe」開設

- ・公開日 2019年8月27日(火)
- ・アドレス <https://visithachinohe.com/en>
- ・特徴 ①主に日本語版『観光・物産情報サイト』内容を、八戸圏域に4年以上在住する当団体スタッフ(マシュー・ボラ:米国人)が翻訳し、分かりやすいサイトを目指した。
②外国人にお薦めの表示順とした。
③宿泊予約につなげるため、外国版宿泊予約サイト(Booking.com、Expedia)リンク先掲載。

(2) デジタルマーケティング事業

- 6月11日からfacebook、google等へ圏域観光コンテンツをデジタル広告にて配信。首都圏等の方々をターゲットとし、広告閲覧者を当団体ホームページの関連ページへ誘導。圏域への誘客を図る。
- ・8月テーマ:アクティビティ(種差キャンプ、キリストの墓・ピラミッド、ガリステ)
 - ・9月テーマ:グルメ(横丁、陸奥湊駅前朝市、八戸酒造)

(3) 地域商社事業

①試験輸送(7月15日)

常温と冷蔵混載を想定した新たな段ボール(東北容器工業(株)と共同開発)を活用。当圏域の野菜、お酒などの地場産品を混載にて首都圏レストランへ試験輸送。(単品輸送時に比べ約7割削減可能)

②首都圏プロモーション(7月17・18日)

①で輸送した食材を活用し、東京都内2店舗にて特別メニューを提供。生産者も同行し、特別メニュー注文者へ食材説明を行うなどにより、圏域の食材に関する認知度向上を図った。

(4) 八戸圏域2次交通対策シェアサイクル実証実験

- ・実施主体 VISITはちのへ
- ・運営主体 (株)リコネクトリレーションズ(本社:盛岡市)
- ・利用料金 80円/15分、1,500円/日
- ・期間 2019年7月29日(月)~2020年3月31日(火)(3期に分けて実施予定)
- ・設置台数 15台※30台設置を目指す
- ・ポート数 3か所(八戸駅東口広場、八食センター、三春屋)※15カ所の設置を目指す。

(5) はちのへローカルマーケット事業

1年を通じた出展ブース設置と新商品 PR等プラットフォームを構築し圏域事業者を支援。

- ①セレクトフェア 「うにまつり」(6月)、「さくらんぼまつり」(7月)、「冷た〜いスイーツまつり」(8月)「黒にんにくまつり」(9月)
- ②全国特産品フェア 今治フェア(6/15~7/15)、燕三条フェア(7/16~8/7)、甲府フェア(8/20~9/19)、日田フェア(9/20~10/21)
- ③はちのへ圏域自慢の逸品コーナー 圏域市町村の事業者が出展し、新商品等をPR・販売



デジタルマーケティング広告(9月)



地域商社事業(試験輸送梱包)



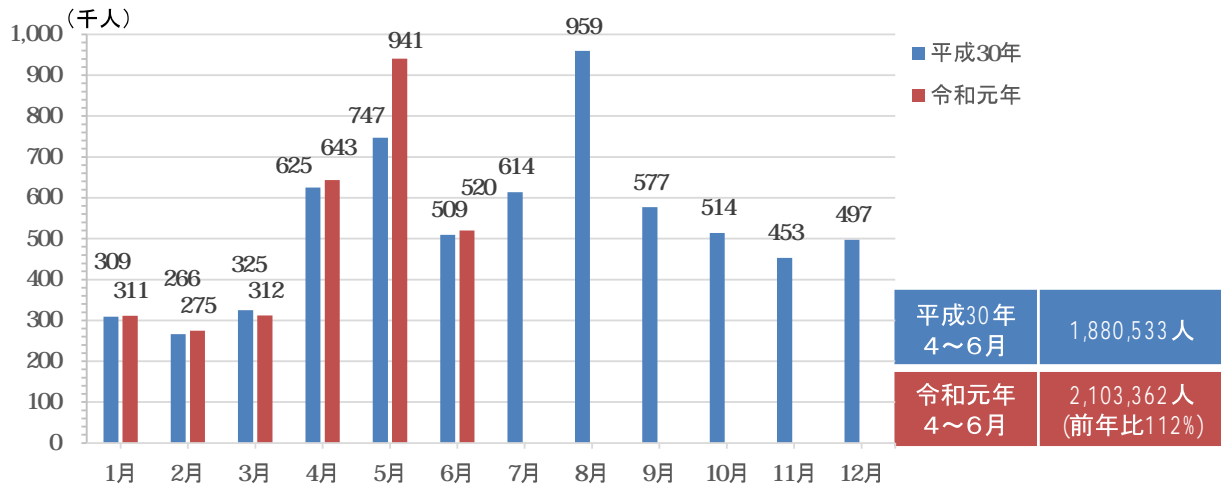
シェアサイクル実証実験

4 八戸市観光統計について

月間統計

※速報値

○観光入込客数 (観光地点入込で行催事・イベント入込は含まず)



○宿泊者数 ※八戸ホテル協議会調べ (市内18宿泊施設)

